

CONFIDENTIAL

ANALYSIS REPORT

# 第9回ダンロップ全日本パデル選手権 アンケート分析レポート

参加者アンケートの結果と  
次回大会への改善に向けた示唆

DATE

2025.12.23

RESPONDENTS

N = 64

SOURCE

大会公式アンケートフォーム



PADEL JAPAN

ALL  
JAPAN  
PADEL



※ 有効回答 (N=64) のみを集計。「不満足率」は「やや不満」「とても不満」の合計。「次回参加意向」は「必ず参加したい」「できれば参加したい」の合計。

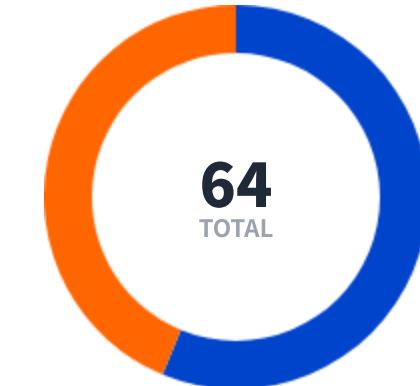
DATA SOURCE:  
FORM\_RESPONSE\_1



## 居住地域分布



## 性別構成比



♂ 男子

36

56%

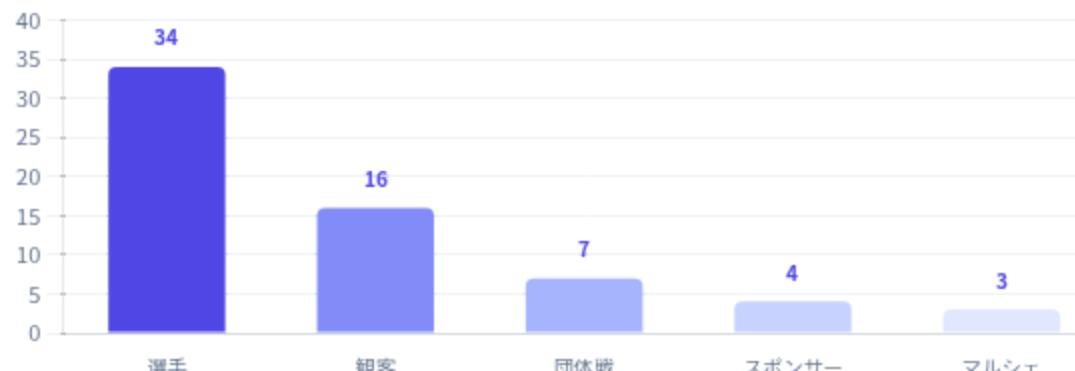
♀ 女子

28

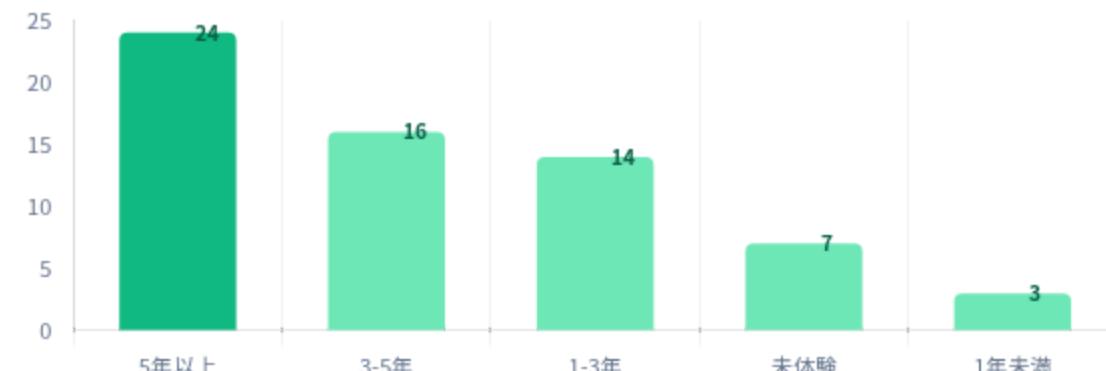
44%



## 参加・来場理由



## パデル競技歴



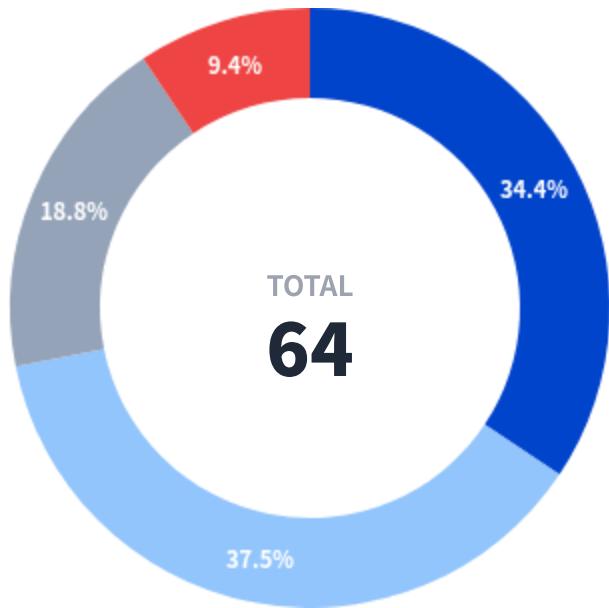


# 総合満足度と次回参加意向

i 参加意向は極めて高い水準を維持

## 総合満足度分布

**2.97** / 4.0  
AVG SCORE



とても満足

22

やや満足

24

やや不満

12

とても不満

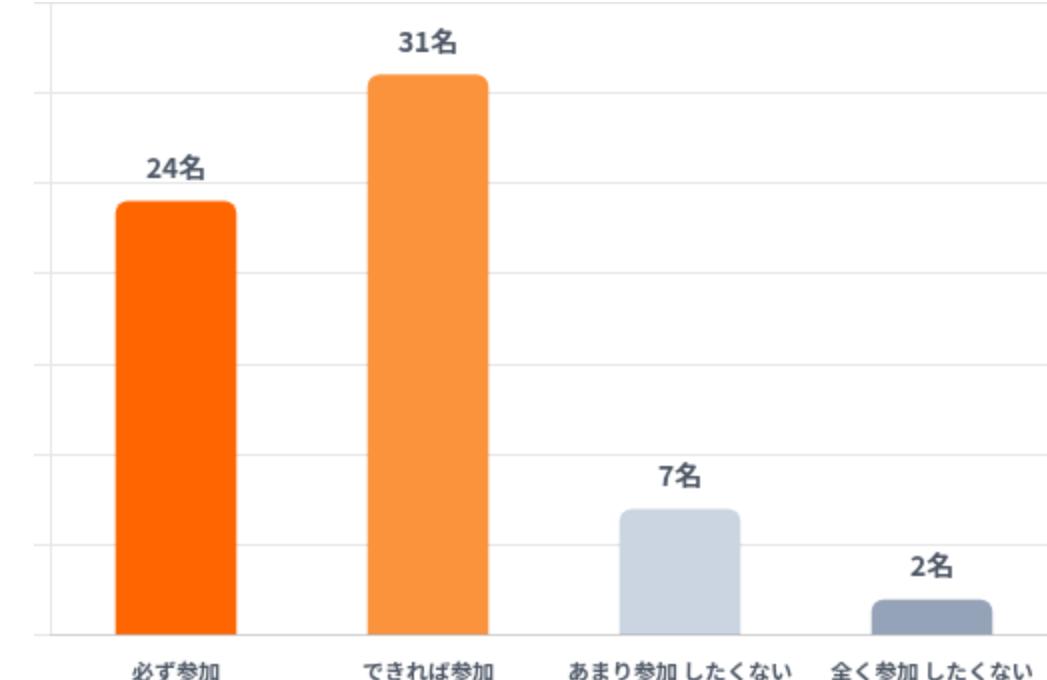
6

## 次回参加意向

POSITIVE INTENT

「必ず」「できれば」の合計

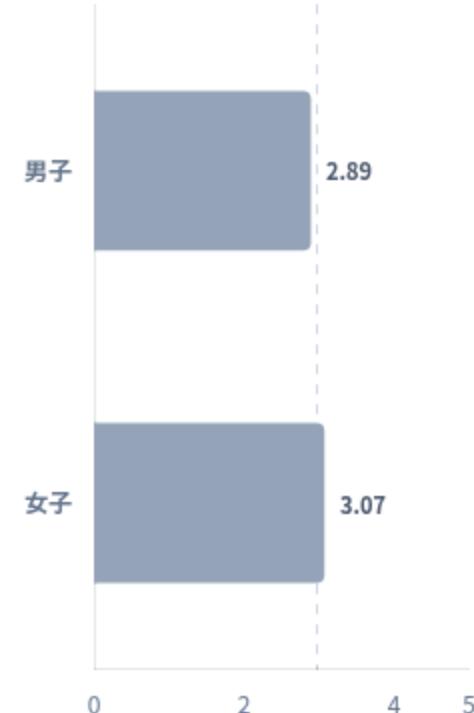
**85.9%**



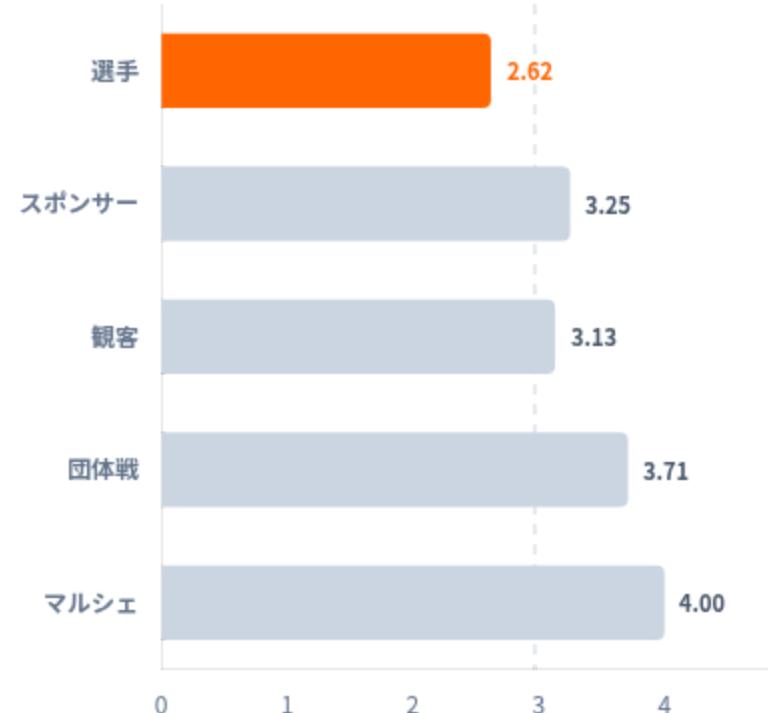
※ 「必ず参加したい」「できれば参加したい」を前向きな回答として集計



## ♀ 性別



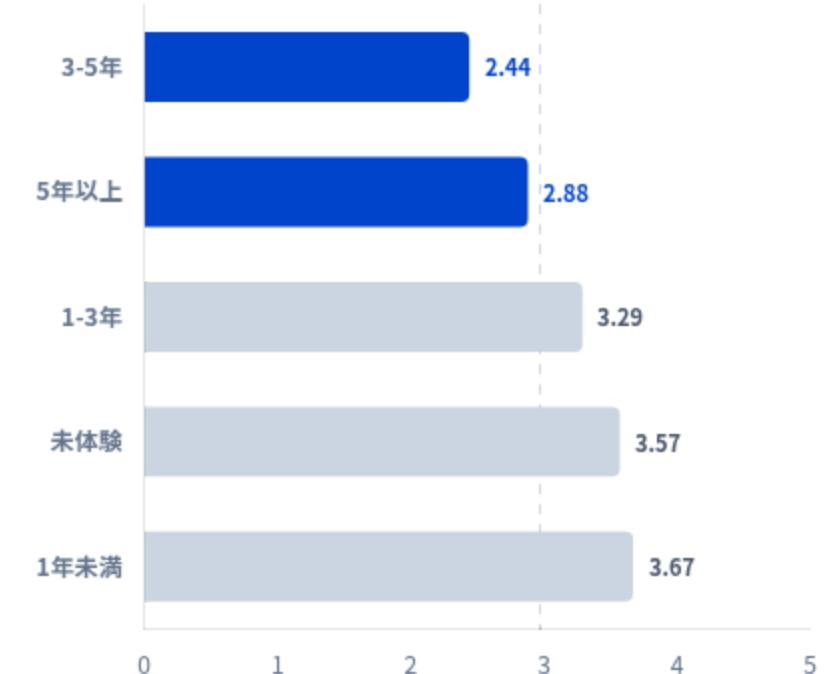
## ◎ 参加理由別



## Insight:

「選手」として参加した層の満足度が2.62と最も低く、運営面の課題が競技者に影響を与えている。

## ◎ 競技歴別



## Insight:

競技歴3年以上の「中上級者・コア層」の満足度が平均を大きく下回る。大会への期待値の高さの裏返しとも言える。

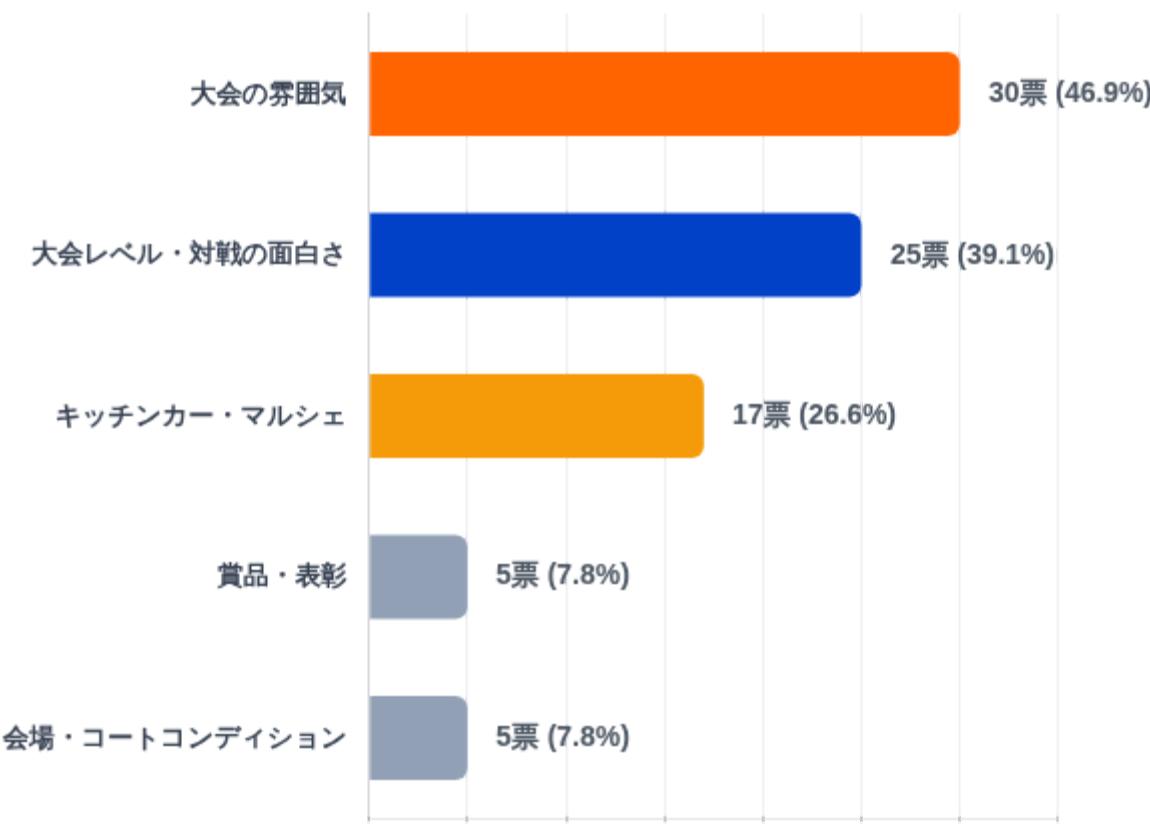


## 評価された点 (TOP5)

複数回答可 (N=64)

## 良かった点ランキング

回答数 (割合)



## KEY INSIGHT

## 「雰囲気」と「競技性」の両輪が高評価

約半数が「大会の雰囲気」を評価し、エンタメ性が支持されています。また、対戦の面白さやレベルの高さも約4割が評価しており、全日本選手権としての質が担保されています。

## 参加者の声

"全試合放映してくれるなんて、遠征者からはとてもとても嬉しい。関西からの応援もたくさんもらえた。"

"準決勝も決勝もよかったです。"

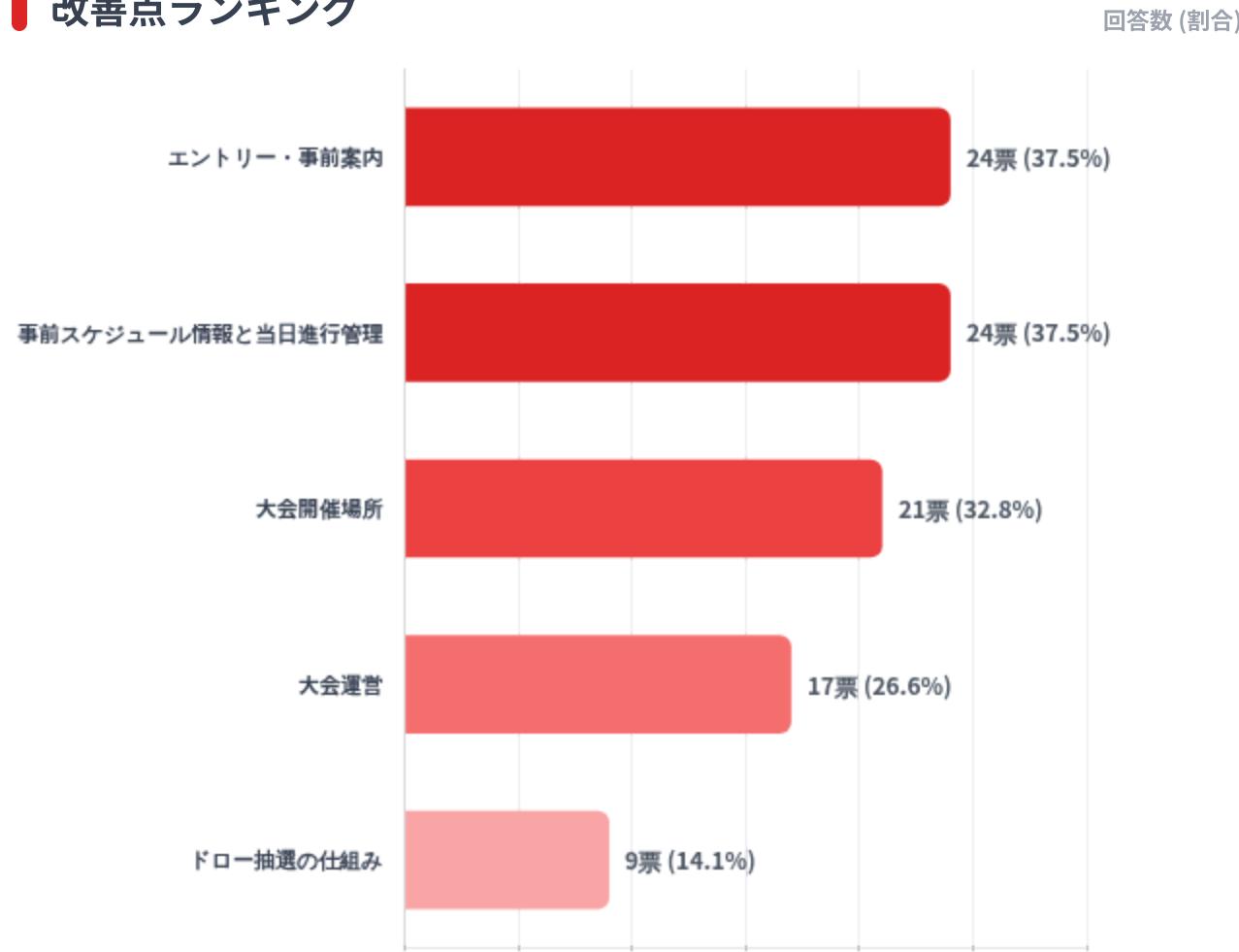
"パデルが日本で流行るために、素晴らしい大会環境を期待しています"



## 改善要望 (TOP5) と参加者の声

複数回答可 (N=64)

## 改善点ランキング



## 参加者の具体的な声

アンケート自由記述より抜粋

## ⌚ エントリー・事前案内

「平日開催なのに1週間前に詳細発表は配慮不足」

「ドロー発表が遅すぎる」

## ☒ 事前スケジュール情報と当日進行管理

「試合スケジュールの発表時期について極めて強い不満」

「コート設営遅れやレフェリー不在で進行が不透明」

## ⚙️ 大会運営

「運営準備をもっと前もって」

「後手すぎる対応」

# 重要課題の優先度整理

## ● 最優先対応 (Critical)

緊急度: 高 / 重要度: 高



### エントリー・事前案内

Score: 75.0

FREQUENCY  
**24件** (37.5%)

➡ 情報の遅さが最大の不満要因。参加可否の早期確定が急務。特に遠征組への配慮が必要。



### 事前スケジュール情報と当日進行管理

Score: 75.0

FREQUENCY  
**24件** (37.5%)

➡ 事前のドロー・OOP発表遅延と、当日の進行管理・コミュニケーション不足が主要課題。

## 重要課題 (Important)

緊急度: 中 / 重要度: 高



### 大会運営体制

Score: 39.8

FREQUENCY  
**17件** (26.6%)

➡ エントリーリスト公開とドロー手続きの早期化・明確化。競技中の公平性を担保するレフェリー配置とルール周知の徹底。

## ● 要検討 (Medium)

緊急度: 中 / 重要度: 中



### 大会開催場所

Score: 32.8

FREQUENCY  
**21件** (32.8%)

➡ アクセスやコート環境への要望。次回以降の会場選定基準として検討し、事前の環境情報提供を強化。



# 次回大会への改善検討

3つの改善領域

## CATEGORY 1



### 事前準備の徹底

#### エントリー・情報公開

##### ドロー/OOPの早期公開

開催1ヶ月前の暫定版公開と、2週間前の確定版配信をルール化。

##### エントリー確定・FAQ

選手向けFAQの整備と、エントリーリストの透明性確保。

##### 観戦・会場案内

駐車場、アクセス情報、副次イベントの情報などを事前に詳細アナウンス。

## CATEGORY 2



### 当日運営の効率化

#### 進行管理・会場運営

##### リアルタイム進行揭示

Webサイトおよび会場モニターでの試合進行・遅延状況の可視化。

##### 待ち時間短縮策

審判・進行スタッフの増員と、次試合待機ルールの厳格化。

##### 会場動線・表示の最適化

選手/観客エリア分離と立入禁止区域の明確な現地表示。

## CATEGORY 3



### 体験価値の向上

#### イベント・コンテンツ拡充

##### 配信とリザルト速報

全コート配信体制の安定化と、SNSでの即時結果発信。

##### 体験価値向上施策の継続

今回好評だった団体戦・マルシェ等の体験施策を次回も組み合わせて展開。



# まとめと次のアクション

2026シーズンに向けた提言

## KEY TAKEAWAYS

1

### 運営・情報面の課題が浮き彫り

全体満足度は中程度（2.97）だが、**28%**が不満を表明。特にエントリー案内やスケジュール管理など「情報」に関する不満が集中している。

2

### コア層（選手・経験者）の低満足度

観客よりも選手、ビギナーよりも中上級者の満足度が低い傾向。大会の中核を担う層へのケアと運営品質の向上が急務。

3

### 「場」の価値は高く評価

大会の雰囲気（46.9%）や競技性（39.1%）は強み。このベースを活かしつつ、運営面のストレス要因を取り除くことが改善の鍵。

## NEXT ACTIONS (3 MAJOR AREAS)

1

### 事前準備の徹底

PREPARATION

ドロー/OOPの早期公開と、エントリー確定・FAQ配信を徹底。  
→ 選手からの問い合わせを未然に防ぎ、透明性を確保。

2

### 当日運営の効率化

OPERATION

リアルタイム進行掲示、待ち時間短縮、会場動線の最適化。  
→ 現場の混乱を防ぎ、競技に集中できる環境を提供。

3

### 体験価値向上施策の継続

EXPERIENCE

全コート配信の安定化と、団体戦・マルシェ等の継続実施。  
→ 好評施策を組み合わせ、大会全体の満足度を向上。



VISION

選手も観客も、共に熱狂できる「最高の大会」へ。

All Japan Padel Championship  
2025